

10月10日

2022.10.11 校長 西谷 秀幸

童謡まつりの話

さて、昨日、「10月10日」は祝日でした。何の日で休みだったのでしょうか。

そうです。「スポーツの日」です。今年は、たまたま「10月10日」が「スポーツの日」ですが、22年前の西暦2000年に「ハッピーマンデー制度」というのが作られてから、10月の第2月曜日がこの祝日になりました。月曜日を祝日にする事で、「土日月」と三連休にするためです。

しかし、この祝日は、3年前までは「スポーツの日」という名前ではありませんでした。では、「スポーツの日」になる前は、何の日だったのでしょうか。

①運動の日 ②健康の日 ③体育の日



正解は、「③体育の日」です。「体育」というと学校の勉強のようなイメージがありませんね。そこで、勉強とか関係なく、ただ純粋に「スポーツを楽しむ日にしよう」ということで、去年、開かれた東京オリンピック・パラリンピックをきっかけに「スポーツの日」に名前が変わりました。祝日って名前が変わることがあるのですね。

実は、「スポーツの日」になる前の「体育の日」は、校長先生が学校の先生になったばかりの頃、まだ、ハッピーマンデー制度ができる前の1999年までは、10月の第2月曜日ではなく、「10月10日」が「体育の日」と決まっていたんです。

では、なぜ、昔は、「10月10日」が「体育の日」だったのでしょうか。

今から58年前の1964年、日本で、そしてアジアでも初めてのオリンピックが行われたのが「東京」で、そのときの開会式が「10月10日」に行われたので、その日を記念して、「10月10日」が「体育の日」として祝日という休みの日になり、今の「スポーツの日」につながっているんです。



昔、日本は戦争に負けてしまい、そのあとに立ち直った日本の姿をオリンピックで世界にアピールするために、「開会式」は「絶対に晴れる日」が良いとされました。

そこで、日本オリンピック委員会は気象庁というところに、「絶対に晴れる日」を調べてほしいとお願いをし、たくさんのデータの中から晴れる確率が高い日を調べてもらいました。すると、1番晴れる確率が高い日が10月15日で、2番が10月10日という結果が出ました。でも、10月15日は木曜日だったため、より多くの人に見てもらえるように、土曜日だった「10月10日」を東京オリンピックの開会式の日決定したんです。

そして、大成功した東京オリンピックを記念して、「スポーツや体育に親しむ日」という目的で「10月10日」が「体育の日」という祝日として作られたんです。

今では、祝日は「10月10日」ではなく、10月の第2月曜日になり、名前も「体育の日」から「スポーツの日」に変わりましたが、10月は「東京都で運動をして体力を付けよう」という月ですので、たくさんスポーツをしたり運動をしたりしましょう。

ちなみに、「10月10日」は、10を横にすると眉毛と目のように見えるので「目の愛護デー」、つまり「目を大切にする日」でもあります。

他にも、10月10日は、「1010」が「千と10（とお）」で「銭湯の日」、「とお」と「とお」で「トマトの日」、「ジュ・ジュ」で「お好み焼きの日」など、たくさんの記念日になっています。

他にも、10月10日は何の日か、ぜひ調べてみましょう。



これで朝会の話が終わります。

(裏面に「先生方へ」があります)

〈先生方へ〉

先日は、土曜日に「成増童謡まつり」があり、18名の児童が参加しました。3年ぶりの開催ということで、過去に参加したことのある子が一人もいない中での参加したが、毎年3学期の始業式に話している「3つのC」…「Chance・Challenge・Change」のごとく、チャンスをつかんでチャレンジする子供たちは、どんどん成長していきます。また、地域行事に積極的に参加することは、地域社会に参画していく上での基礎となります。

御指導いただいた齋藤先生、渡辺先生、引率・応援に来てくださった先生方、ありがとうございました。

ところで、今回は、ハッピーマンデー制度になってから久しぶりの「10月10日」＝「スポーツの日（体育の日）」ということで、「スポーツの日」から、前身の「体育の日」や1964年の「東京オリンピック」、そして、「〇〇の日」と話題を広げて話をしました。

ちなみに、「〇〇の日」という記念日は、実にたくさんありますが、1年間で最も多いのは「10月10日」なのだそうです。「おもしろい記念日」については、数年に1回の頻度で児童朝会で話していますが、いろいろと調べてみると面白いですね。

児童の実態に応じて、教室での補足をお願いします。

また、週末は、学校公開です。掲示物については、口頭でもお伝えしましたが、掲示する内容、人権的な配慮、貼り方など、各学年等で相談の上、前日までに各学年・専科ごとに確認をよろしくお願いします。

【資料】 体育の日と10月10日について

「体育の日」の由来

「体育の日」は、1964年（昭和39年）に日本で初めて開催された東京五輪を記念し、1966年（昭和41年）に「スポーツにしたいしみ、健康な心身をつちかう日」として制定された国民の祝日である。もともとは10月10日で、東京五輪の開会式が行われた日だった。しかし、2000年（平成12年）から「ハッピーマンデー制度」が適用され、10月の第2月曜日になった。

開会式が10月10日になった理由

東京五輪の開会日が10月10日になったのは、戦後から復興した日本の姿を世界にアピールするには、晴れる日が良いとされたからだ。では、10月10日が「晴れの特異日」だったから…という説があるが本当だろうか。

特異日とは、ある気象状態が高い確率で現れる特定の日のことをいう。東京五輪開催が決定した1959年（昭和34年）発行の「気象学ハンドブック」では、10月14日と11月3日が晴れの特異日にあげられていたが、10月10日はあげられていなかった。しかし、天候に考慮したのは事実で、五輪開催決定後、日本オリンピック委員会は気象庁に、絶対に晴れる日を調べてほしいと依頼した。そして、気象庁が膨大なデータの中から一番高い確率で晴れる日を調べたところ、10月15日が割り出され、二番目に晴れる日が10月10日という調査結果になった。さらに、東京オリンピックが開催される1964年10月15日は平日の木曜日だったため、より多くの人々の注目を集めるために、晴れる確率が高くて土曜日だった10月10日をオリンピックの開会式の日決定したといわれている。

ちなみに、実際に1964年10月10日がどうだったかというと、台風の影響で開会式前日まではぐずついた天気だったが、当日は一転して快晴となった。NHKのテレビ中継を担当した北出清五郎アナウンサーの「世界中の青空を全部東京に持ってきてしまったような素晴らしい秋日和でございます」は名言として今でも語り継がれている。